

5月16日（月） 総務文教常任委員会

調査件名
●広野駅周辺開発について

広野駅周辺開発 宅地の一部を先行販売

総務文教

住宅開発
住宅開発区域内の実
設計が完了し、4月
に事業者のパナソニッ
クホームズ（株）が開
発申請を福島県相双建
設事務所へ提出したと
のことです。
開発申請が許可され
た後に町と事業者間で
土地の売買契約を締結
し、住宅地の造成工事
が着手されます。
令和4年度の完成に
向けて上下水道の工事
と合わせて進めている
とのことでした。
事業者は一部区画を
先行して造成し、販売
する意向で、それに合
わせて町も補助事業の
予算化を進めていくと
のことでした。
販売PR、土地購入
補助金など必要な対応
を実施します。
町内外へ適切に情報
を発信していくよう求
めました。
未来のかけ橋エレベ
ーター
3月に完成していま

委員会報告

を報告します

野駅周辺開発
したが、3月16日に発
生した最大震度6強の
福島県沖地震により、
エレベーター本体の外
壁パネルの破損が発生
したとのことでした。
メーカーによる被害
調査結果は運転に支障
はなく、安全に使用で
きるとのこと。4月
1日より供用が開始さ
れました。
修繕工事は、町と事
業者が費用を折半して
行うこととなったとの
ことでした。
JR東日本が委託施
工する、駅構内の跨線
橋へのエレベーター設
置工事については、下
り線・上り線のピット
工事及びシャフト工事
が完了し、下り線側か
らの通路新設工事を
行っているとのこと
です。
今後は、エレベ
ーター本体の機材搬入、
組み立てを行い、内装
の電気工事を実施して
いくとのことでした。

委員会

各常任委員会の活動状況

産業厚生 農 林業の振興 米価下落の支援を検討

電柵の設置補助
町で購入して、農業
者に貸与することとな
っており、新たに圃場
整備された地区におい
ても申請が上がってき
ているので、6月の補
正時に増額補正を考え
ているとの説明でした。
イノシシ対策
イノシシ捕獲者の捕
獲実績は令和2年度は
150頭、3年度は42
頭で今までに871頭
の捕獲数となっており、
広野町有害鳥獣対策実
施隊で6人が活動し、
隊に所属しない5人の
方も捕獲している。
有害鳥獣対策実施隊
員も高齢化している事
から、関係者と協議し、
次世代の隊員の育成に
ついて協議していきたく
いとのことでした。
玉ねぎ栽培
現状町内で3農家の
方が60a生産しており、
令和4年3月に県が指
定し、令和7年度まで
に3haまでの計画との
ことです。

5月17日（火） 産業厚生常任委員会

調査件名
●農林業の振興について
●町の道路行政について
●ため池の放射性物質の
確認について

南相馬から浪江まで
1市5町で、関係農業
者、ふくしま未来農協
と福島さくら農協で、
近代化計画を県が策定
しているとのこと。す
町として遊休農地を
活用した玉ねぎ作りを
検討しているところで、
以前に委員会で町内の
玉ねぎに適した農地等
の土壌分析を行ったほ
しいと要望しましたと
ころ、農協に土壌の分
析を依頼する予定との
ことで、次回の委員会
で検査結果が示される
見込みとのことでした。
米価下落に対する農業
者支援
今年度も米価下落が
懸念されている状況に
あり、国、県の支援策
を注視して、町として
の支援を検討していき
たいとのことでした。
森林再生事業
令和7年度以降の事
業継続要望が県内各市
町村から出ており、町
としても県、国に要望
をしている状況で、浜

駅舎周辺整備
通学する学生や送り
迎への保護者などで混
雑することを鑑み、車
道と歩道を分ける形で
構想を練っているとの
ことでした。
駐輪場の整備や管理
の在り方についても十
分に検討するよう求め
ました。
国際研究教育拠点
候補地として条件に合
う町有地を提案したと
のことでした。



現在の駅舎周辺

産業厚生 ため池の放射性物質 基準値以下の結果

調査結果の変動
西の沢ため池の調査
結果については、国が
継続的に進めており、
平成28年度から流入
口、湖心部、取水口等
を調査しているとのこ
とです。
令和元年の8月と11
月に2回、取水口の数
値が下がりましたが、
令和2年の取水口につ
いては、2400 Bq/
kgの数字で、毎回、中
心部と流入口、取水口
と測る場所によって、
数値の多少の違いは出
ていますが、基準の
8000 Bq/kg以下の
結果を示しているとの
ことでした。
環境放射線モニタリン
グ事業
GPSを用いて、放
射線量を見える化し、
住民に伝えるという目
的で事業を行っている
とのことでした。
なお、費用について
は、指名競争入札を行
い、精査して発注して
いるとのことでした。



直売所で販売している広野町産玉ねぎ

産業厚生 町の道路行政 第平までの道路拡幅を

県道上戸渡広野線改良
狭くすれ違う所も少ない状況であり1.5車線の
形で車がすれ違えるようなところを少しずつ増や
して行って、最終的に第平地区まで安心していけ
るように県に要望していきたいとの説明がありま
した。
長畑土ヶ目木線側溝の詰まり
生活林道と認識しており、確認をして対応した
いとの説明でした。
道路改良計画の優先順位と完了年月
田戸作線、北釜大谷地原線、萱平線、高倉亀ヶ
崎線の順で整備を考えているとのこと。既に工
事発注した場所もあり、並行して進めているとの
ことです。
高倉亀ヶ崎線の歩道整備については、設計、用
地買収、工事と分割発注工事になるので完成の見
通しはまだ立っていないとのこと。
施設の長寿命化と工事維持費用
橋梁については5年に1回必ず点検を実施する
と法律で義務付けられており、補助金を活用して
橋梁の工事を進めるので、予算に問題はないとの
説明でした。